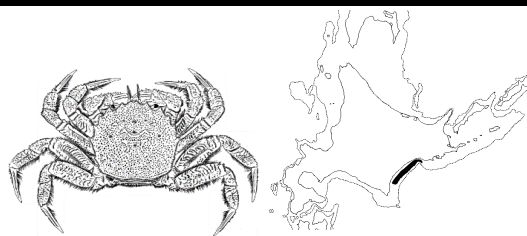


# 36. ケガニ

主な漁業と漁期  
 けがにかご  
 釧路西部：9～翌1月  
 十勝：11～翌1月



## 釧路西部・十勝海域

### 生態

#### ◆分布・回遊

釧路西部・十勝沿岸の水深150m以浅に広く分布しています。幼生期には、ふ化した水域から南西方向へ輸送され、成体期には深淺移動しながら北東へ移動する傾向があります。交尾期には20～50mの浅海域に多く分布しています。

#### ◆産卵期・産卵場

◎産卵期は10～翌3月で、抱卵期間は1～1.5年で、幼生ふ化期は1年以上経過した4月頃です。

◎産卵場：不明ですが、メスの抱卵個体は釧路海域により多く分布しています。

◎産卵生態：交尾・産卵はメスの脱皮に合わせ2～3年ごとに行われます。メスは産卵後、受精卵を自分の腹肢に附着させ、幼生がふ化するまで保護します。

#### ◆成長・成熟

|      | 甲長(mm) |    | 体重(g) |    |
|------|--------|----|-------|----|
|      | オス     | メス | オス    | メス |
| 2歳   | 46     | 43 | 53    | 44 |
| 3歳   | 59     | 53 | 116   | 88 |
| 4歳   | 71     |    | 209   |    |
| 5・6歳 | 84     |    | 356   |    |
| 7・8歳 | 98     |    | 580   |    |

\*) 阿部(1977)、Abe(1992)、三原ら(2016)、美坂・石田(2015)、森ら(1991)より

\*) 加齢の基準日：4月1日

#### ◎成熟年齢・甲長

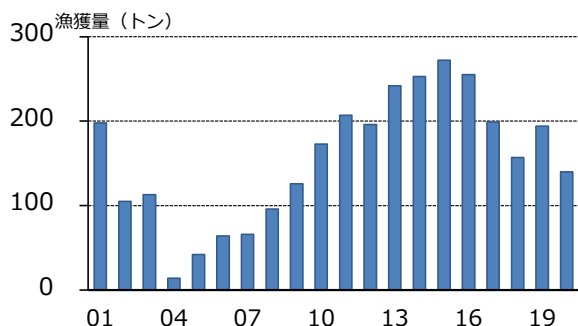
- ・オス：2歳、甲長46mm前後から成熟する個体がみられます。
- ・メス：2歳、甲長43mm前後から成熟する個体が見られ、甲長60～65mm以上で半数以上の個体が成熟します。

### 資源評価

[評価年]4月～翌3月

[資源水準の指標] 資源調査における甲長8cm以上の雄のCPUE (kg / 100かご)

2020年度の漁獲量は140トンで、前年より減少しました。2020年度の資源水準は中水準、翌年にかけての資源動向は横ばいと判断されました。2013年度以降、許容漁獲量はABCの範囲内に設定され、資源は中位で推移しており、概ね適正な資源利用状況にあると考えられますが、2019年度以降、甲長70～90mmのCPUEが低下していることから、今後の資源動向には注意が必要です。



2020年度  
 の水準



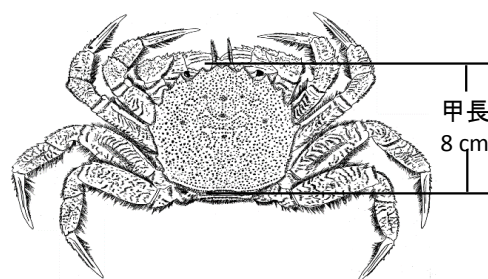
2021年度  
 の動向



### 資源の維持・増大のために！

#### 資源管理の現状(主なもの)

- 北海道漁業調整規則  
 メス、および甲長8cm未満のオスの採捕が禁止されています。
- 許可の制限条件等  
 許可隻数、漁期、かご数・目合の制限をしています。また、毎年の資源評価に基づき、許容漁獲量を定めています。



☆現状の措置の遵守するとともに、資源状況に見合った資源利用を図っていく必要があります。また、密漁対策の継続が必要です。

問い合わせ先

北海道水産林務部水産局漁業管理課資源管理係  
 北海道立総合研究機構 釧路水産試験場調査研究部

電話 011-204-5477  
 電話 0154-23-6222